

詩人会議って こんなところ

入会・定期購読のご案内



創造上の傾向や
方法のちがいをこえ、

あなたも書き手になりませんか？

詩人会議事務局

< 詩人会議 > 規約

前文

詩人会議は、詩の創造と普及を軸にすえた
民主的な詩運動の集団です。

わたしたちは、
創造上の傾向や方法のちがいをこえ、
平和と進歩、民主主義を指向する
共通の立場にたって、運動をすすめます。

詩人会議って

こんなところ

目次

- 詩人会議規約 前文 2
- 詩人会議とは 4
- 詩誌『詩人会議』について 5
- ・【アーカイブ】詩人会議 創刊号 編集ノートより
 - ・投稿のおさそい
- 毎月のイベント 8
- ・リモート読者会（Zoom 合評会）
 - ・詩作のつどい
- 郵送による詩の批評サービス「詩の実作教室」..... 9
- 組織の構成・総会 10
- あなたも書き手になりませんか？ 12
- ～入会・定期購読のご案内

詩人会議 とは

創立60周年
以上!

▶ 創立

1962年12月8日

▶ 発起人

壺井繁治／坂井徳三／大島博光
門倉訣／浅尾忠男／赤木三郎

特別会友

アーサー・ビナード、有馬敵、伊奈かっぺい、金子勝、小森陽一、嶋岡晨、杉谷昭人、中上哲夫、中原道夫
(以下は故人) 伊藤信吉、小野十三郎、有馬敵、大崎二郎、川崎洋、小坂太郎、白石かずこ、新川和江、宗左近、中正敏、野田寿子、福中都生子、増田れい子、吉野弘、青木はるみ、大崎二郎、原子朗、菊田守、徐京植 ※顧問:浅尾忠男、大嶋博光、片羽登呂平、城侑、土井大助、中正敏、佐藤文夫、滝いく子、小森香子、秋村宏

詩人会議は「詩の創造と普及を軸にすえた民主的な詩運動」を標榜する詩人集団です。創造上の傾向や方法のちがいをこえ、平和と進歩、民主主義を指向する共通の立場にたって、運動をすすめています。月刊詩誌『詩人会議』を刊行するほか、全国各地に40以上の詩人会議グループを擁し、グループ誌の発行、朗読会その他のイベントを行なっています。

また毎年、すぐれた詩集（もしくは評論集）に与えられる壺井繁治賞および公募による新人賞（詩、評論部門）を開催しています。

▶ [目次に戻る](#)

詩誌 『詩人会議』 について

現在
700号超!

- ▶ 創刊
1963年1月号
- ▶ 機関誌というスタンスは
今も変わりません

毎号、詩作品だけでなく、エッセイ、専門家による評論などを掲載。社会の動向に合わせて、今取り上げるべき問題を取り上げています。

「機関誌」のスタンスを貫き、発行資金は本誌の売上金ではなく、会員の会費でまかっています。そのため、世論に迎合することなく、問題の本質を追求する内容を発信しています。

会員になると、本誌に作品を発表することができます。



※機関誌：政党・研究機関などの団体や個人が、その目的を達するために発行する新聞・雑誌。



【アーカイブ】
詩人会議 創刊号（1963年1月号）

編集ノートより

去年の五月一四日、ほくの家若い詩人の赤木三郎、小田切清光、門倉諫君たちが集ったのを機会に、一つ詩の雑誌をだそうではないかという話がもちあがり、それから七、八ヵ月ぶりでやっと創刊号がでる運びになった。第一号は表紙とも僅か三六頁のささやかな雑誌であるが、ほくたちはこの雑誌に大きな希みと期待と課題をかけている。それはグループのアピールをよく読んでもらいたい。

差当りは同人雑誌で、あまり資金もないが、まず内容を充実して、たんなる同人雑誌から日本社会の現実の広場にてゆき、多くの読者の忌憚ない批判にこたえながら、この雑誌こそ、「われわれの雑誌だ」というところまでもってゆきたいと思っている。

この雑誌では同人といえども、厳密に作品を検討する。そのかわりに一般読者の作品もどんどん歓迎し、日本の現実の底辺に潜んでいる詩の鉞脈を発掘することに力をいれる。われわれは前にのべたように資金にとぼしいので、いくらでもよいから、この雑誌発刊に賛成の方々のカンバをお願いします。（壺井繁治）

これはみなさんの雑誌です。みなさんの積極性と力の集中がほとんど唯一の基盤です。グループの一定の見解についてはご存知のとおりですが、雑誌作りその他の事業をつうじて巾ひろいものをめざしていくつもりです。

地方の同人の方々は、読者会とか各地方詩人会議など、少人数からでも身近かに組織していくことを考えていただきたいと思います。私たちは一日も早く、ちいさな同人組織からぬけだして全国的な書き手の結集する拠点になっていきたい。サークル誌、同人誌、詩集、詩書関係の資料などを送って下さい。参考にさせていただくばかりでなく、できるかぎり誌上にとりあげます。同人は五四人、〈詩人会議〉は毎月五日発行。第一号は、できのわるい雑誌になったかもしれませんが、ともかくここから出発します。よろしく。（赤木三郎）

投稿のおさそい

詩の投稿欄

「自由のひろば」

メール

郵送



会員外の方でもどなたでも投稿でき、掲載作品は3人の選者の批評をうけられます。郵送もしくはメールで受け付けています。

12月号で、年間最優秀作品・優秀作品の表彰を行っています。

投稿の手引き

- ▶ 一人ひと月に一篇、一行17字×40行以内厳守。
- ▶ 題名の下に名前（ペンネーム可）を入れること。原稿の末尾には住所・氏名（本名）・年齢・職業・電話番号を明記してください。
- ▶ 作品は未発表のものに限ります。グループ・同人誌等に発表予定の作品もご遠慮下さい。

メール投稿の場合

メール本文に直接詩を書くか、Word ファイルを添付してお送りください。送信の際、必ず件名と送信面に住所・氏名を明記してください。
送信先 ▶ sijin-kaigi@tokyo.email.ne.jp

郵送投稿の場合

封筒に「詩人会議編集部・自由のひろば係」と朱書してください。
郵送先 ▶ 〒170-0004 東京都豊島区北大塚 2-18-3-202

▶ 目次に戻る

毎月の イベント

▶ リモート読者会 (Zoom合評会)
毎月第4金曜 19:00 ~

▶ 詩作のつどい (通称：詩作)
毎月第2土曜 13:30 ~

※日程が変更になる場合もあります。

Zoomによる合評会 リモート読者会

参加無料

『詩人会議』最新号に掲載の詩作品について、参加者で合評を行います。最新号をお持ちの方であれば、どなたでも参加OK。毎月10名前後の詩人が参加しています。

対面による合評会 詩作のつどい

参加費 500円

場 所：詩人会議事務所にて (JR大塚駅より徒歩4分)
持ち物：自作の詩 (なくても可)
進 行：上手宰

対面による詩作合評のつどいです (通称：詩作)。参加者同士で合評を行います。どなたでも参加OK。この場で練られた作品は、その後どこに発表・投稿するのも自由です。

初めて参加される方は、下記メールアドレスよりお申し込みください。

お申し込み sijin-kaigi@tokyo.email.ne.jp

▶ 目次に戻る

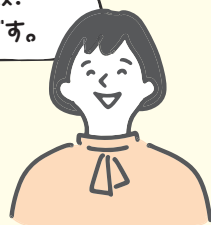
郵送による 詩の批評サービス 詩の 実作教室

▶ 講師

上手宰／玄原冬子／清野裕子
高田真／中村明美／南浜伊作

※いずれか1名が批評いたします。

リピーター多数!
人気サービスです。



自宅にしながら、詩作品を郵送するだけで、詩人会議の現役詩人たちの批評が得られます。

詩作経験を問わず、初めて詩を書く人から詩作の壁を突破したいと努力されている方まで詩人会議 60 年の運動の中で得た成果をもとにその作品を具体的に分析、アドバイスいたします。

まずは
資料のご請求を

ご希望の方は、**84 円切手**を同封の上、
下記まで資料をご請求ください。

詩人会議「詩の実作教室」委員会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚 2-18-3-202
(TEL.03-5980-6961)

▶ [目次に戻る](#)

組織の構成

・ 総会

▶ 運営委員会・事務局・編集部の連携によって運営

▶ 2年に一度の総会。

組織の構成

詩人会議は、運営委員会・事務局・編集部の連携によって運営されています。

▶ **運営委員会**（運営委員長：清野裕子）

運営委員長・常任運営委員（月1回の常任運営委員会に参加）・運営委員で構成されており、会の運営を中心にを行います。

▶ **事務局**（事務局長：洲史）

会の実務を統括します。

▶ **編集部**（編集長：柴田三吉）

機関誌『詩人会議』の編集にあたります。

総会

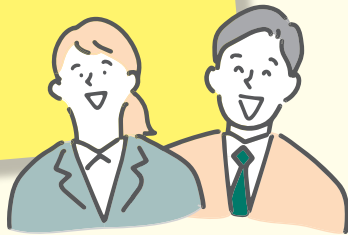
2年に1回、運営委員長の招集によって開催。会員の過半数（委任状含む）によって成立する本会最高の議決機関で、活動全般や予算などについての討議がなされます。

また会員同士の交流の場でもあり、総会と同日に行われる新人賞祝賀会、翌日に行われる壺井繁治賞受賞者によるおはなし会（講演会）、朗読会では、楽しい時間が流れます。



▶ [目次に戻る](#)

あなたも書き手になりませんか？



入会・ 定期購読の おさそい

- ▶ 会員になると『詩人会議』本誌に作品を発表できます。
- ▶ 会費は学割あり。

詩や評論を書いておられる方で、下記の「会の規約（前文）」を認める方ならどなたでも入会できます。会員・会友になると、『詩人会議』の本誌へ作品を発表することができます。創造運動をになう書き手（運動の自覚的な構成員）として、創作、批評、研究活動をおこないます。

< 詩人会議 > 規約

前文

詩人会議は、詩の創造と普及を軸にすえた民主的な詩運動の集団です。

わたしたちは、創造上の傾向や方法のちがいをこえ、平和と進歩、民主主義を指向する共通の立場にたって、運動をすすめます。

会費・購読費

▶ 会員

入会金：3,000 円

会 費：月額 3,000 円

※学生の会費は、月額 1,800 円

▶ 会友

入会金：2,200 円

会 費：月額 2,200 円

▶ 誌友（定期購読者）

3か月・6か月・1年のコースがあります。

1・2月合併号を含むか含まないかによって代金が異なります。

通常月 1号 … 1,000 円 + 送料 140 円

1・2月合併号 … 1,500 円 + 送料 140 円

年間購読料 … 13,000 円（全 11 冊・送料込み）

会員と会友の違い

総会において、議決権があるのが会員、議決権がないのが会友です。会友も書き手として『詩人会議』本誌に作品を発表できます。

お申し込み

下記メールアドレスよりお申し込みください。

誌友（定期購読）希望の方には、契約月数に応じた代金をお知らせいたします。

お申し込み ▶ sijin-kaigi@tokyo.email.ne.jp

会費・購読費のお支払い方法

『詩人会議』誌に添えられている払込取扱票をご利用いただくか、下記のゆうちょ口座までお振込みください(インターネットバンキングOK)。

【郵便振替】00190-6-34187

【ゆうちょ口座】記号10120

番号38784841

▶ 目次に戻る

— 14 —

詩人会議
shijin-kaigi

(2024年9月発行)

〒170-0004 東京都豊島区北大塚 2-18-3-202

TEL.03-5980-6961 FAX.03-5980-6962

【ホームページ】<https://shijinkaigi.net/>

【Eメール】sijin-kaigi@tokyo.email.ne.jp

【ネットショップ】<https://shijinkaigi.stores.jp/>